

2012年10月11日

ヨコハマタイヤワンメイクのWTCC、日本ラウンドにPRブースを出展

横浜ゴム（株）は、コントロールタイヤをワンメイク供給している「FIA 世界ツーリングカー選手権（WTCC）」の日本ラウンドにPRブースを出展する。タイヤおよびホイール商品を幅広く紹介するとともに、レース会場で人気のオリジナルグッズ販売やデモカー展示などを通じてファンとともにレースを盛り上げていく。今年5回目となる日本ラウンドは10月20日～21日に鈴鹿サーキット東コース（三重県鈴鹿市 全長：2.243 km）で開催。日本人ドライバーはヨコハマタイヤを装着してSUPER GTでも活躍中の吉本大樹選手、加納政樹選手が参加する。同日、フルコース（全長：5.807km）にてWTCCと同じくヨコハマタイヤワンメイクで行われているスーパー耐久シリーズ第5戦も開催される。

PRブースのタイヤコーナーでは、WTCCのコントロールタイヤにも認定されているグローバル・フラッグシップブランド「ADVAN（アドバン）」をはじめ、低燃費タイヤブランド「BluEarth（ブルーアース）」やスタッドレスタイヤブランド「iceGUARD（アイスガード）」を中心に市販用タイヤの主要ブランド全商品を展示。さらにアルミホイールコーナーは、これまでにない大規模な展示を予定しており、WTCCでも活躍している「ADVAN Racing RSII（アドバン・レーシング・アールエスツー）」や「ADVAN Racing GT（アドバン・レーシング・ジーティー）」など最新モデルを含む主要ブランドの全色を展示する。

また、レースイベントをより盛り上げるため、人気のADVANオリジナルグッズやWTCCコラボレーショングッズを販売するほか、ヨコハマタイヤやホイールを装着した多くのデモカーを展示し、“魅力的でカッコいい”ドレスアップスタイルを提案していく。

WTCCはF1、WRC、WEC、GT1とともにFIA（国際自動車連盟）が管轄する世界選手権のひとつで、世界最高峰のツーリングカーレース。横浜ゴムは2006年からコントロールタイヤをワンメイク供給しており、環境に配慮したオレンジオイル配合のADVANレーシングタイヤを供給している。さらに今年、FIAが求める性能を十分に満たしていることが評価され、2015年まで10年連続の供給継続が決定した。なお、横浜ゴムは現在、FIAの世界選手権にタイヤを供給する唯一の日本のタイヤメーカーである。



2012年WTCC開幕戦（イタリア）のスタートシーン



ヨコハマPRブースの市販用タイヤコーナー（2011年）

このリリースに関するお問い合わせ先
横浜ゴム（株）広報部 担当：坂本
TEL：03-5400-4531 FAX：03-5400-4570